１．他県の事例（長岡市）

資料　1

長岡戦災資料館（長岡市）	
   	
設置目的	長岡空襲の惨禍を記録・保存し、伝えていくため
移転の契機・プロセス	歴史施設の再編の検討が契機となり、市の旧互尊文庫（長岡空襲の爆撃中心点である明治公園に隣接）の建物に移転。建物の耐震補強、バリアフリー化、老朽化対策等の工事を行い、市の所有施設として恒久的な伝承施設を整備。
場所・開設時期	・長岡市坂之上町3-1-20 ・令和８年５月リニューアルオープン（当初開館は平成15年）
整備費　等	・既存公共施設を活用 ・整備費：約11.6億円
運営体制	・専任スタッフ６名
展示概要	・使用面積：展示スペース　515㎡、事務室　45㎡、収蔵庫　91㎡、企画学習室　129㎡ ・資料点数：常設展示　350点、保管数　約4,500点

他県の事例にみる、常設展示施設の意義

- 郷土の歴史を学び、平和学習ができる機会の恒常的な提供
- 県内外からの来訪者に、その都市の歩みを紹介できる施設
- 戦争の記憶や平和の尊さを次世代に継承する活動の拠点
- 展示・活用を見据えた資料の収集・保存

１．他県の事例（岡山市・前橋市）

参考（第1回検討会で報告）

	岡山空襲展示室 （岡山市）	前橋空襲と復興資料館 （前橋市）
	 	 
設置目的	岡山空襲を中心とした資料を展示し、歴史の事実を認識しながら、先人の労苦を偲び、戦争の悲惨さと平和の尊さを次世代に語り継ぐ	前橋空襲の実情と復興の歩みに対する市民の理解を深め、平和を希求する思いを風化させず後世へ継承し、平和な社会の発展に寄与
整備の契機・プロセス	市民団体の要請・民間資料館の閉館に伴う引継ぎ。散逸を防ぐため、開館前から学芸員による資料収集・整理を実施	民間資料館の閉館に伴う引継ぎ。資料の寄付受け入れとともに、市発行の戦災史を基に、展示内容を調査・検討
場所・開設時期	・岡山市北区駅元町15－１（岡山ｼﾃｨﾐｭｰｼﾞｱﾑ内） ・平成24年10月開館	・前橋市南町３丁目62－１（市民文化会館内） ・令和７年４月
整備費　等	・既存公共施設を活用 ・整備費：約4,800万円	・既存公共施設を活用 ・整備費：約1.5億円
運営体制	・専任スタッフ３名（全員学芸員）	・専任スタッフ３名（うち学芸員１名）
展示概要	・使用面積：展示スペース　200㎡ ※他に事務室、収蔵庫もあり ・資料点数：常設展示 100点、保管数 約9,000点	・使用面積：展示スペース　175㎡、 事務室　19㎡、、収蔵庫　17㎡ ・資料点数：常設展示 100点、保管数 約8,000点